2016 度点検・評価シート

Ⅰ　評価項目・担当部局

対象部局	現代アジア研究所
評価基準 8	社会連携・社会貢献
点検・評価項目(2)	8-2 教育研究の成果を適切に社会に還元しているか。
評価の視点	教育研究の成果を基にした社会へのサービス活動
	学外組織との連携協力による教育研究の推進
	地域交流・国際交流事業への積極的参加
点検・評価項目(3)	8-3 社会連携・社会貢献の適切性について定期的に検証を行っているか。
評価の視点	責任主体・組織、権限、手続きを明確にしているか。また、その検証プロセスを適切に機能させているか。

Ⅱ【点検・評価項目ごとの現状説明】

8-2	2013 年 11 月に大学創設９０周年記念事業として、本研究所・国際関係学部・アジア地域研究科共催で国際学術シンポジウム「台頭する中国とアジアの新秩序」を開催し、150 名を超える教員・学生の参加があった。2014 年度には同シンポジウムの成果である論文集を編集・刊行し、学内外へ配布した。2015 年度には「南アジアにおける社会変動と文化変容」を開催した。(追加資料)
8-3	国際学術シンポジウムおよび成果物としての論文集の刊行は、本研究所・学部教授会・アジア地域研究科から選出された実行委員会の責任によって進められ、逐次研究所運営委員会、学部教授会、アジア地域研究科委員会に報告され、その適切性について検証を受けている。

【効果が上がっている事項】

8-2	
8-3	

【改善すべき事項】

8-2	学部や大学院と連携し「国際交流事業」などに積極的に参加できる体制を整える。
8-3	

本項目の根拠資料（データ類、裏付けとなる資料）

B8-1　大東文化大学の基準別基本方針 HP
http://www.daito.ac.jp/information/about/basicpolicy.html　≪既出≫B1-5

〔追加資料〕
国際関係学部ホームページ　http://www.daito.ac.jp/education/international_relations/news/details_8332.html
国際関係学部ホームページ　http://www.daito.ac.jp/education/international_relations/news/details_11021.html

Ⅲ【達成目標】目標の進捗状況は、「S：完全に達成」　「A：概ね達成」　「B：やや不十分」　「C：不十分」　で、評価する。

達成目標		目標達成の指標となるもの		評価 2014	2015	2016	2017	2018
中期目標(2014～2018)	8-2　国際学術シンポジウム等の社会的・時代的適切性および成果物の刊行・配布の適切性を考える。招聘研究員の場合にも確実に成果物を残すようにする。	国際シンポジウム等の開催時にはその成果物を１点以上残すこと。また招聘研究員の場合、学部内の研究会または学部の関連授業への参加を１回以上、滞在時あるいは帰国後に成果物を１点以上提出する。				B		
	地域交流・国際交流事業に積極的に参加する。	学部と連携して、地域交流・国際交流事業への参加体制を構築する。	→			C		
14 年度目標	8-2　2013 年度開催の国際学術シンポジウムの成果物として論文集を編集・刊行する。	論文集１点の編集・刊行。	→	S				

15 年度目標	8－2 国際学術シンポジウムを開催する。	国際学術シンポジウムの開催		A			
16 年度目標	8－2　第 3 回国際学術シンポジウムの開催に向けて準備を進める。	準備委員の発足。			C		
	8－2　国際交流・地域交流への参加のための体制を検討する。	運営委員会に、国際交流や地域交流について検討する部会を設ける。			C		